

【対策のポイント】

- 地区内の土地利用形態の変化により流出量が増加し、豪雨時に排水路が溢水することで農地や住宅等に湛水被害が発生。
- 被害を軽減・防止するため、東大場・島排水機場を更新し、排水能力を約1.5倍に強化。
- この結果、令和5年6月の台風2号の際、湛水被害を未然に防止。

【取組地域の概要】

- 位置 みとし
茨城県水戸市

茨城県



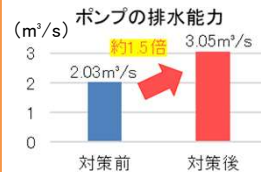
ひがしおおば しま
東大場・島排水機場

○ 実施事業

- ・農村地域防災減災事業 (H23～R4)
- うち5か年加速化対策 (R2)

排水機場を更新し、ポンプの排水能力を強化

- 排水機場の更新に、併せて排水ポンプの能力を増強。



対策後

ポンプ口径 排水能力
Φ800×1台 3.05m³/s
Φ500×3台



排水機場の更新

(H25年～R4年)

【整備前】

上流部の宅地開発により地区内の雨水流出量が増加し、既存の排水機場では排水能力が不足。



対策前

ポンプ口径 排水能力
Φ550×1台 2.03m³/s
Φ500×2台
Φ300×1台



湛水被害の未然防止

- ポンプの排水能力向上の効果により、浸水想定被害面積及び想定被害額が減少。

	想定被害額	想定湛水面積
改修前	7,126万円	40.21ha
改修後	被害なし	被害なし

- 過去には豪雨により、排水路の溢水や農地の湛水などの被害が生じていたが、対策により地区内排水が適切に流下。
- 連続雨量207.5mmを記録した令和5年6月の台風2号においても地区内の湛水被害を防止。

対策前: H23年豪雨(9月21日の雨量158.5mm)



対策後: R5年台風2号(6月2～3日の雨量207.5mm) 通過後の状況



地区内の
湛水被害無し